

ウォーキング

海山道神社お詣りと塩浜史跡めぐり

令和7年1月11日（土）

1. ルート 近鉄海山道駅～海山道神社～馳出地蔵～虫供養塔～御園神社～
大柳地蔵～鈴鹿川堤防～楠緑地公園(昼食)～北楠駅
9.0 km (14,500 歩)
2. 参加者 市川義行・伊橋健治・伊藤利男・喜吉 雄・高木 勉・伝田 貢
中村軍志・中村 衛・濱田 一
9 名
3. ドキュメント

この地においては比較的暖かな平穏な新年を迎えることが出来ました。今年もみんなの安寧を願って初詣ウォーキングを実施した。9時30分海山道駅前に集合して恒例により部長の喜吉さんの新年のあいさつを受け「あけましておめでとう、今年もよろしくお祈りします」と互いの健闘を誓いあう。海山道駅の改札口を出たところがすぐに海山道神社の社殿となっていて先ずは初詣となる。



赤い鳥居の参道



本殿



参加者の皆さんで記念撮影



幾つかの赤い鳥居を潜っていくと社殿に出る。各々の思いで拍手を打ちお参りをする。この海山道神社は『洲崎濱神社』の稲荷社であったが稲荷社の信奉者が増え平成18年に名称を変更したとのことである。境内にある洲崎濱神社の前に差し掛かるも人影なくひっそりとしていた。

洲崎濱神社

海山道神社のお参りの後は近鉄の踏切を渡り、馳出地蔵に立ち寄る。このお地蔵さんは塩浜地区で唯一の四日市市指定文化財で檜の木製で地域の人々に親しみられている仏様とのことです。通常は内部を見ることは出来ないのですが今回のウォーキングコースを設定してくれたこの塩浜地域で活動されている中村衛さんが自治会長に依頼して開放していただきお参りができました。私たちが40年ほど勤めた会社の近くにこのような史跡があることをはじめて知りました。



馳出地蔵堂



内部の仏像



常夜灯

地蔵堂の近くの参宮下街道に常夜灯が二基ありました。金剛寺の前に中国風の塔が立っていました。虫供養塔と刻まれているとのこと今はコンビナートの工場群となっていますが昔は農地の広がる農村であったとのことです。



虫供養塔



浄福寺



石標：左七津屋

参宮下街道を歩いていくと手入れの行き届いた浄福寺の山門の前を通りました。お参りはしないで会釈をして通り過ぎました。塩浜地区には六ヶ寺もあるそうですがその内の一つだとのこと。塩浜駅から昭和四日市石油に通じる広い道に達すると古い石標があり「左七津屋」と書かれていました。誰か曰く「長い間ここを通っていたのに気が付かなかった」と・・・ここから昭四石の新しい事務所が見え50mほどの距離のところ。

塩浜駅の傍に御園神社が祀られていて塩浜地区の氏神様として崇拝されています。ここでもみなでお参りをしました。神社前には『急ぐとも頭を下げよ神社まえ』と書かれた石碑が立てられていて通勤の途中、つい頭を下げたのを思い出しました。この付近には居酒屋がたくさんあり、当時はよく暖簾をくぐったことも楽しい思い出であります。その後、鈴鹿川の方に足を延ばしていくと工場の壁に『四日市入道』をイメージした可愛らしい人形が描かれていました。



御園神社



かわいらしい入道さん

大里町に辿り着くと鈴鹿川の堤防斜面に大柳地蔵のお堂が見えてきました。堤防をお守りしている由緒ある仏様とのことでした。ここでも扉を開けてお参りすることが出来ました。鈴鹿川左岸の堤防道に上がり、近鉄線路を越えて塩浜街道を横切っていくと昭四石の製油所が広がっているのを懐かしく一望しました。煙突や精留塔などペンキが剥げて赤く見えたのをちょっぴり寂しく感じました。



大柳地蔵さん



堤防の斜面に立つお堂



鈴鹿川左岸の河口方面



堤防から見る製油所

堤防を2kmほど河口に向かって歩き磯津橋を渡って楠町に入り楠緑地公園に辿り着いたのは12時20分ごろであった。暖かな日差しを受けて芝生の上に座り込んでささやかな食事会を開く。寒さが厳しいだろうと思い焼酎のお湯割りを用意すると意外にも好評で売れ残ることなく完売した。一時間余りの時を過ごして近鉄北楠駅まで歩き解散する。



楠緑地公園の昼食模様